

2026年10月14日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

新宿副都心で巨大ビジネスマッチングイベント 「住友不動産ベンチャーサミット2026」開催 事業共創の場を創出し、スタートアップエコシステムの強化に貢献

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順)は、2026年10月27日(火)に新宿住友ビルにて、スタートアップ企業(以下、SU企業)と当社ビルテナントを含めた取引先の大企業等をマッチングさせるイベント「住友不動産ベンチャーサミット2026」(以下、本サミット)を開催いたしますのでお知らせいたします。

当日は、多数の応募の中から厳正な審査を通過した16社によるピッチコンテストを実施し、最優秀企業を決定いたします。また、本サミットではピッチコンテスト以外にも、VCと事業会社の「M&A・ロールアップを活用した成長戦略」を促進するためのセッションや、大手金融機関との資金調達相談スペースの設置、約3,000名を超える応募者同士の交流を深める懇親会などを予定しております。

次世代の成長産業とされる「戦略17分野」への投資機運が高まる中、革新的な技術・サービスの社会実装が強く期待されています。本サミットでは、大企業幹部、金融機関、研究機関、自治体などの多様な主体が一堂に会し、業界の垣根を超えた連携を加速させることで、新たな価値創造やイノベーションの実現を目指すものです。

当社は総合デベロッパーとしてのアセットを最大限に活用し、多様なプレーヤーがつながる「イノベーション創出の場」を提供します。本サミットから生まれる新たなビジネスの創出と、スタートアップ企業のさらなる成長を強力に後押しいたします。



2025年表彰式の様子



過去の会場の様子(新宿住友ビル三角広場)

【住友不動産ベンチャーサミット2026 開催概要】

開始日時:2026年10月27日(火) 受付 10:00～ 第1部 10:30～13:15 第2部 14:15～17:25

開催場所:新宿住友ビル 三角広場 (東京都新宿区西新宿2-6-1)

開催内容:ピッチコンテスト(午前・午後)、トークセッション(午前・午後)、表彰式(2回)

その他懇親会(ネットワーキング)、展示ブース、ビジネスマッチング

※当日取材ご希望の報道関係者は、事前取材申し込み書をお送りいたしますので
住友不動産株式会社 広報部 koho@sumitomo-rd.co.jpまでご連絡ください。

■開催のコンセプト

当社グループならではの強固なネットワークの基盤を活かし、多様な企業との接点を創出することで、スタートアップエコシステムの活性化を推進します。さらに、SU企業と事業会社の協業機会を広げることでイノベーションを促し、グローバル市場で存在感を発揮する成長企業の輩出を目指します。

また、当社はこれまで、「GROWTH(グロース)」シリーズを代表とするインキュベーションオフィスの展開を通じ、次世代を担うSU企業や起業家の成長を支援してまいりました。本イベントは、その取り組みをさらに発展させるものであり、オフィス空間の提供といったハード面に加え、ビジネスマッチングや事業共創の機会創出などソフト面での支援を強化することで、SU企業の持続的な成長をより強く後押しすることを目的としています。

■「住友不動産ベンチャーサミット2026」の特徴

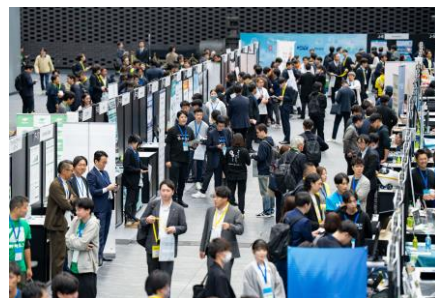
①過去最多規模の申込人数(見込み)

参考:2025年3,074名

②時代の潮流を捉えた特別なセッション

- 1部「戦略17分野を成長機会に変える、日本発の新産業創出」
- 2部「事業拡大を見据えたM&A・ロールアップによる新たな成長戦略」

③大手金融機関・VCの誘致と、資金調達相談・出展ブースの設置 →



2025年の出展ブースの様子

■当日のプログラム概要・参加者

本サミットには、大手企業の経営者・幹部・新規事業担当者をはじめ、VC・金融機関、SU企業の経営者・経営幹部、大学・自治体など、多様なプレイヤーが参加します。

2部構成で実施する本サミットでは、メインコンテンツであるピッチコンテストに加え、トークセッション、金融機関・企業によるブース出展、さらには参加者同士がその場で打ち合わせを行える商談ブースを会場内に設置します。これらを通じて、登壇者だけでなく、参加者にも大手企業やVCとの交流・ネットワーク構築の機会を提供します。

【ピッチコンテスト】

第1部:IGNITION STAGE(創業直後～3年目の企業が登壇)

第2部:EXPANSION STAGE(成長段階がミドルステージ規模の企業が登壇)

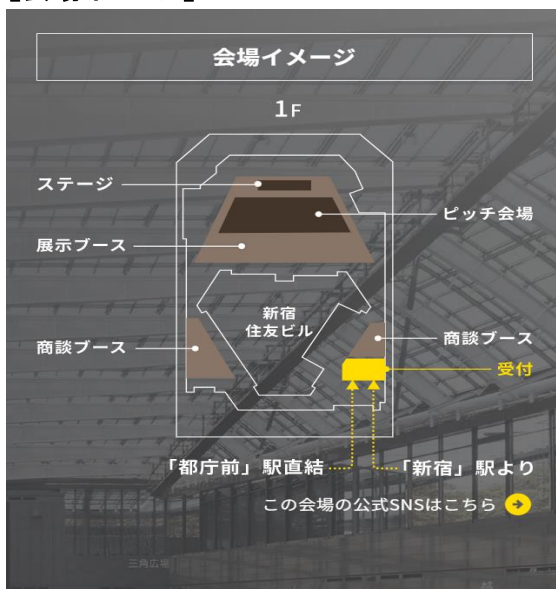
【プログラム】

PROGRAM	
※プログラムは変更となる場合がございます。	
10:00～10:30	開場(ブース出展開始)
10:30～10:40	オープニング・ご挨拶
10:40～11:40	セッション(第1部)
11:50～13:00	ピッチ(Ignition Stage)
13:05～13:15	表彰式
13:25～14:15	ネットワーキング@新宿住友ホール
14:35～15:35	セッション(第2部)
15:45～17:00	ピッチ(Expansion Stage)
17:10～17:25	表彰式
17:35～19:30	ネットワーキング@新宿住友ホール

第1部

第2部

【会場イメージ】



<本件に関する報道関係者お問い合わせ先>

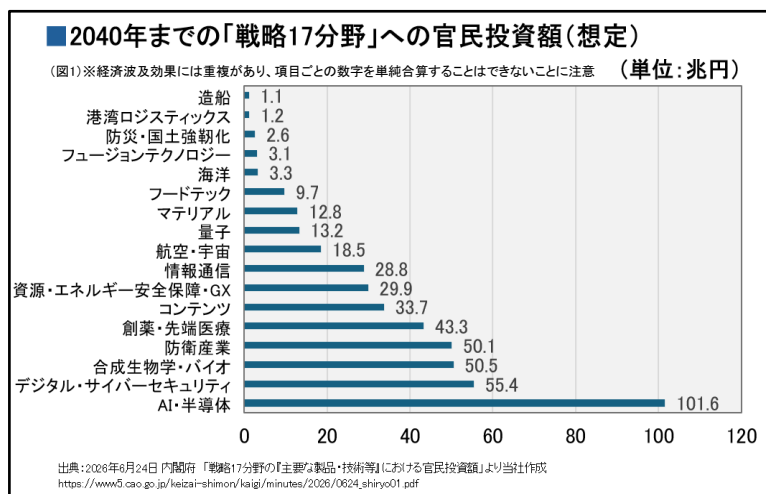
住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 メール:koho@sumitomo-rd.co.jp

【参考】スタートアップを取り巻く環境

国策としての「戦略17分野」への投資

近年、GX(グリーントランスフォーメーション)やDX(デジタルトランスフォーメーション)、AI、宇宙、バイオテクノロジーなど、次世代の成長産業として位置付けられる「戦略17分野」への注目が高まっています。日本が持続的な経済成長を実現し、国際競争力を維持・向上させていくためには、これらの成長領域における技術革新や産業創出を官民連携で加速させることが不可欠です。

そのような状況の中、SU企業は、高度な技術力や独創的なアイデアを活かし、新たな市場や事業モデルを創出する担い手として大きな期待を集めています。特に戦略17分野は、社会課題の解決と市場拡大の双方が見込まれる領域であり、SU企業にとっては事業成長の大きな機会となっています。



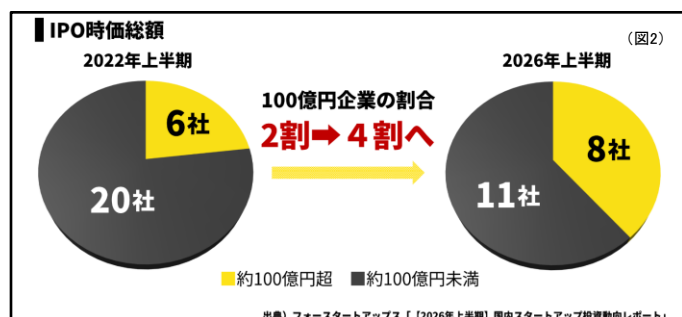
政府は「国家投資構想」にて、戦略17分野・62技術への2040年度までの官民投資総額は**370兆円超**になると見込んでおり(図1参照)、その全ての項目にSU企業が組み込まれています。

こうした巨額の投資が見込まれる成長領域には、SU企業を中心に、人材・資金・技術・事業機会等が集積し、SU企業を起点としたイノベーション創出の動きが一層加速していくことが期待されます。

スタートアップエコシステムの変化

国内SU企業を取り巻く環境も大きく変化しています。近年は、IPO時の企業価値が大型化する傾向がある一方で、小規模IPO(100億円未満)の割合は減少(図2参照)しており、SU企業には従来以上に高い成長性や事業規模が求められるようになっていきます。

また、M&A件数が増加傾向(図3参照)にあり、従来のIPO中心の出口戦略から、M&Aを含めた多様な成長・資金回収手段を選択する動きが広がっています。このように、スタートアップエコシステムが新たな局面を迎える中、成長企業と事業会社、投資家、金融機関との連携機会を創出し、事業共創や資本提携、M&Aを含む多様な成長機会を提供することの重要性はこれまで以上に高まっています。



上記のような成長機会を提供するため、当社は総合デベロッパーならではの「共創のプラットフォーム」を通じて、大企業とSU企業との事業シナジーの創出を支援してまいります。

